

パレスチナ人はなぜ怒り、イスラエルは何を恐れるのか？

講師： 奈良本 英佑 さん(法政大学名誉教授)

略歴 1941年生まれ。京都大学文学部卒、1965年から1980年まで、毎日新聞記者。プリンストン大学院で中東史専攻、1991年から2021年まで法政大学教員。中東学会会員。

著書 「君はパレスチナを知っているか」(ほるぶ出版、1997年、ほか)「パレスチナの歴史」(明石書店、2005年)；翻訳書、Y.ハルカビ「イスラエル・運命の刻」(第三書館、1990年)など

パレスチナ人のイスラーム組織「ハマス」の奇襲、「報復」の名で行われている、連日のガザ地区への猛烈な砲爆撃。イスラエル側によると、ハマスの攻撃で外国人も含め約1400人が死亡、ガザ地区保健当局に依れば、パレスチナ側の犠牲者は、10月末までに8000人を超え、さらに増え続けています。これは、2014年夏、イスラエル軍のガザ攻撃で約2200人以上が殺され、1万人以上が負傷した時をはるかに上回ります。「一発殴られたら、十発殴り返す」のがイスラエル側のやり方、アメリカに支持されているイスラエルが今回どこまでやるか。

今回の衝突は、10月7日、パレスチナ側の奇襲で始まったのですが、その後の惨劇を見ているだけでは、その意味は理解できません。その根源(Root Causes)をどこまでさかのぼるか。ガザ封鎖が始まった2007年か、アラファートとラビンの頂上会談が失敗した2000年か、ガザ地区がイスラエルに占領された1967年？イスラエルが建国された1948年？もっと遡って、例えばイギリスの「三枚舌外交」までか。こうしたことを考えていただくきっかけになればと思います。

日時：11月9日(木)19:00～21:00 **場所**：東京法律事務所 1F ホール

申込み方法①：会場参加(新宿区四谷1-4 四谷駅前ビル 03-3355-0611)

JR中央線・総武線／地下鉄丸の内線・南北線 四ツ谷駅下車(四ツ谷口)徒歩1分
次のURL又はQRコードからお申込みください。地図や交通案内も載っています。

<https://forms.gle/qNriChyU1DLQhA67A>



申込み方法②：オンライン及び事後配信 次のURL 又は QR コードからお申込みください。

(当日は時間が取れない方も、事後録画配信で参加できます。)

<https://begleiten231115a.peatix.com/>

*ZoomのURL:お申込み確認後、11月9日(木)18:30～19:00
にZoomのURL、ID、パスワードを、個別にご連絡します。



主催:ベグライテン HP: <http://begleiten.org/>

FB: <https://www.facebook.com/begleiten2/> Twitter: <https://twitter.com/Begleiten2001>

問合せ・連絡先: 関根和彦 090-9146-6667 k_sekine@f7.dion.ne.jp